

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	後期	FSG	地理歴史	地理総合	2
教科書					
地理総合（東京書籍）					
学習目標					
地図や統計などを活用して情報を読み解き、さまざまな地域の理解を深める。また、さまざまな地域や地球環境問題について学ぶことで、地域や環境の特徴を多面的・多角的に捉える力を育てる。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	11/21	第1編 地図や情報システムでとらえる現代社会 地図、GIS、統計資料、グラフなどを活用して情報を読み解いたり、比較・分析する技能を身につける。		P 5～P 5 4
	第2回	11/21	第2編 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 日本と世界の地域の特色を比較しながら、文化、自然、産業、生活様式の多様性や共通性を理解する。		P 5 5～P 6 3 P 7 4.7 5 P 8 8.8 9
	第3回	11/21	地域の特色を理解し、持続可能な観光や文化や自然を活かした都市の発展を考える。		教科書全ページ
	第4回	1/23	第2編 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 地球的課題（気候変動・資源・人口問題など）や地域的課題（災害・少子高齢化など）に関心をもち、持続可能な社会づくりに主体的に関わろうとする態度を養う。		P 1 2 1～1 5 7
	第5回	1/23	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 自然災害について学ぶことで、地理的仕組みを理解し、自ら進んで行動する防災意識を育む。		P 1 7 3～2 0 2
	第6回	1/23	SDGsや防災について学ぶことで、主体的に考え課題解決に向けた思考力・判断力・表現力を養う。		教科書全ページ
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	第1編 地図や情報システムでとらえる現代社会 地図、GIS、統計資料、グラフなどを活用して情報を読み解いたり、比較・分析する技能を身につける。			別途コース別時間割による
	第2回	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 自然災害について学ぶことで、地理的仕組みを理解し、自ら進んで行動する防災意識を育む。			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組み態度＞の各観点の到達度から評価する			

令和7年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数	
1	後期	FSG	数学	数学Ⅰ	2	
教科書				メディア利用		
新数学Ⅰ（東京書籍）				なし		
学習目標						
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。						
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	11/21	2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 1 関数 2 1次関数とそのグラフ 3 2次関数とそのグラフ 4 グラフの平行移動 【知識・技能】		P74～P83	—
	第2回	11/21	4 グラフの平行移動 5 $y = ax^2+bx+c$ のグラフ【知識・技能】		P84～P87	—
	第3回	11/21	5 $y = ax^2+bx+c$ のグラフ【思考・判断・表現力】		P88～P90	—
	第4回	1/23	2節 2次関数の値の変化 1 2次関数の最大値・最小値【知識・技能】 【思考・判断・表現力】		P92～P95 【思考・判断】 例題1・問2 例題3・問4	—
	第5回	1/23	2 2次関数のグラフと2次方程式【知識・技能】		P96～P97	—
	第6回	1/23	3 2次関数のグラフと2次不等式 4 いろいろな2次不等式【思考・判断・表現力】 第1回～第6回の【主体的な学習に取り組む態度】		P98～P101	—
面接指導日	回数					日程
	第1回	評価方法の説明、レポート第1回～第3回の学習方法				別途コース別 時間割による
	第2回	単位認定試験の学習方法、レポート第4回～第6回の学習方法				別途コース別 時間割による
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど				
期末試験あり (試験範囲、時間割は2週間 前に発表)		試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。 なお、観点別評価について ＜知識技能＞試験、添削課題 ＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題 ＜主体的に学習に取り組む態度＞添削課題、ノート・ワーク提出 で評価する。				

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	後期	CUPS・FSG	保健体育	体育	2
教科書					
現代高等保健体育（大修館書店）					
学習目標					
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。 (1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。					
添削課題	回数	学習のねらい、内容など			備考 教科書ページ等
	第1回	内容：スポーツが経済に及ぼす効果 提出期限：12月19日（金）			p.136～p.156
	第2回	内容：スポーツと環境 提出期限：12月19日（金）			p.136～p.156
面接指導日	第1回	別途コース別時間割による	1体育の心得 2単位について（シラバス） 3授業ルール 4 BLEND、クラスルームの登録		
	第2回	別途コース別時間割による	持久走		
	第3回	別途コース別時間割による	球技（ゴール型）		
	第4回	別途コース別時間割による	球技（ゴール型）		
	第5回	別途コース別時間割による	球技（ゴール型）		
第6回	別途コース別時間割による	球技（ゴール型）			
第7回	別途コース別時間割による	球技（ネット型）			
第8回	別途コース別時間割による	球技（ネット型）			
第9回	別途コース別時間割による	球技（ネット型）			
第10回	別途コース別時間割による	球技（ネット型）			
単位認定試験		評価方法			
なし		添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	後期	FSG	外国語	英語コミュニケーションⅠ	2
教科書					
All Aboard!! English Communication Ⅰ（東京書籍）					
学習目標					
日常的・社会的な話題について多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の糸を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して文章を書いて伝えることができる。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	備考 教科書ページ等	
	第1回	11/21	Lesson 4、8の新出単語、語句を理解する。	Lesson 4 Lesson 8	
	第2回	11/21	本文を読み、ウユニ塩原でやりたいこと、行ってみたい場所ややりたいことについて理解している。また、ロボットカフェについて理解している。	Lesson 4 Lesson 8	
	第3回	11/21	to不定詞〈to＋動詞の原形〉、現在完了形〈have[has]＋過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。	Lesson 4 Lesson 8	
	第4回	1/23	Lesson 5,10の新出単語、語句を理解する。	Lesson 5 Lesson 10	
	第5回	1/23	本文を読み、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について、自分で調べた事柄を整理・理解している。動名詞〈動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。関係代名詞who, whichを用いた文の形・意味・用法を理解している。	Lesson 10	
	第6回	1/23	動名詞〈動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。関係代名詞who, whichを用いた文の形・意味・用法を理解し指示された英文を作成する。	Lesson 5 Lesson 10	
面接指導日	クラス	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	音読指導等			別途コース別時間割による
	第3回	音読指導等			別途コース別時間割による
	第4回	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第5回	英作文指導（to不定詞〈to＋動詞の原形〉、現在完了形〈have[has]＋過去分詞〉）等			別途コース別時間割による
	第6回	英作文指導（動名詞〈動詞の-ing形〉、関係代名詞 who, which）等			別途コース別時間割による
	第7回	音読指導等			別途コース別時間割による
	第8回	音読指導等			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、音読、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識技能＞試験、添削課題、音読など＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞学習に取り組む、ノートやワークブック、各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画						
学年	学期	コース		教科	科目	単位数
1	後期	FSG		情報	情報Ⅰ	2
教科書						
新編情報Ⅰ（東京書籍）						
学習目標						
情報に関する科学的な見方・考え方を重視し、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識および技能を身に付け、実際に活用する力を養うとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。						
添削課題	回数	締切		学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	11/21		情報の特性やメディアの特徴、問題解決における情報技術の活用を学ぶ。情報社会のモラルや法規、個人情報の扱い、SNSの危険性を理解し、著作権や引用のルールを習得。さらに、新しい情報技術の進展やサイバー犯罪、健康への影響について学習する。		pp.6-25
	第2回	11/21		メディアの変遷や特性、ソーシャルメディアやネットコミュニケーションの特徴を学ぶ。デジタルデータの仕組みやメリット・デメリット、情報のデジタル表現や圧縮を理解する。情報デザインやユニバーサルデザイン、ユーザインタフェースについて学習する。		pp.34-51
	第3回	1/23		コンピュータの基本構成やハードウェア・ソフトウェアの仕組みを理解し、演算や処理回路について学ぶ。さらに、アルゴリズムの必要性や表現方法、プログラムの作成や制御構造について学習する。		pp.62-81
	第4回	1/23		情報通信ネットワークの基礎、プロトコル（TCP/IP）を学ぶ。ネットワークハードウェアやサーバ、IPアドレス、DNSの役割を理解し、インターネットやWWW、電子メールについて学習する。さらに、情報セキュリティの確保方法やデータ・データベースの役割と活用例を学ぶ。		pp.90-112
面接指導日	第1回	※	※	※	別途コース別時間割による	
		学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について。				
	第2回	※	※	※	別途コース別時間割による	
		文書処理ソフトの基本操作を学び、書式設定や図・表・画像の挿入、ファイル管理を習得する。				
第3回	※	※	※	別途コース別時間割による		
	表計算ソフトの基本操作を学び、書式設定、数式・関数の利用方法を習得する。					
第4回	※	※	※	別途コース別時間割による		
	プレゼンテーションソフトの基本操作を学び、スライドの書式設定、図・表・画像の挿入方法を習得する。					
単位認定試験		評価方法				
なし		添削課題や面接指導日・学習支援日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については添削課題における各観点の到達度から評価する。				

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	後期	FSG	国語	言語文化	2
教科書					
高等学校 言語文化（第一学習社）					
学習目標					
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。(2) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	11/28	児のそら寝 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。		教科書12～13
	第2回	11/28	伊勢物語 東下り① 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。		教科書28～30
	第3回	11/28	伊勢物語 東下り② 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。		教科書28～30
	第4回	1/23	狐借虎威 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。		教科書164～165
	第5回	1/23	先従隗始① 戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。		教科書174～175
	第6回	1/23	先従隗始② 戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。		教科書174～175
面接指導日	第1回	別途コース別時間割による		学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について	
	第2回	別途コース別時間割による			
単位認定試験		評価方法			
期末試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識・技能＞試験、添削課題、小テストなど＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	後期	FSG	公民	公共	2
教科書					
公共（東京書籍）					
学習目標					
社会の諸課題に関心を持ち、主体的に考え行動しようとする態度を育てる。また、情報を正確に読み取り、多面的・多角的に考え、他者と議論・協議しながら問題の解決に向けて思考を深める力を養う。個人の自由と社会のルールとの関係を理解し、公共の利益や正義を重視する倫理的態度や規範意識を身につける。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	備考 教科書ページ等	
	第1回	11/28	内容：青年期、宗教、功利主義、生命倫理、環境倫理など 青年期の特徴を理解させ、青年期における自己形成の課題を考えさせる。現代の諸課題について、多角的な視野を持ち他者と共同で解決する能力を育む。	10 - 54	
	第2回	11/28	内容：民主政治、地方自治、国会、内閣など 国会、内閣、裁判所などや選挙の制度、政党の役割などを学ぶことで、民主政治がどのように成り立ち、運営されているかを理解する。	58 - 80	
	第3回	11/28	内容：第1回、第2回分の記述式 既習の内容について、総括的に振り返り、自分の意見や考えを確立する。また、持論について論理的に説明する能力を育む。	10 - 80	
	第4回	1/23	内容：法と社会規範、市民生活と私法、国民の司法参加など 法の必要性や法の社会的意義を理解する。また裁判員制度などを通じ、主権者としての責任意識や法に基づく判断力を育てる。	84 - 108	
	第5回	1/23	内容：市場経済、資本主義の歴史、金融、財政など 市場経済、金融、財政などのしくみや課題を学ぶことで、よりよい社会のあり方や政策について主体的に考え、意見を持つ力を養う。	112 - 156	
	第6回	1/23	内容：第4回、第5回分の記述式 既習の内容について、総括的に振り返り、自分の意見や考えを確立する。また、持論について論理的に説明する能力を育む。	84 - 156	
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	第1部 第1章 2節 社会的な関係のなかで生きる人間 「個人」と「社会」の二面性から人間の在り方について考察し、社会生活を営むうえで、より適した生き方を模索する。			別途コース別時間割による
	第2回	第2部 第2章 法や規範の意義と役割 法や社会規範が持つ役割や機能について学ぶとともに、それらが私たちの生活にどのようにかわるのかを考える。			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画							
学年	学期	コース	教科	科目	単位数		
2	後期	FSG	理科	科学と人間生活	2		
教科書							
数研出版 「科学と人間生活」 (104 数研 科人／704)							
学習目標							
・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。							
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など			備考 教科書ページ等	
	第1回	11/28	第1編 物質の科学 第1章 材料とその利用 【知識・技能】			P.14～35	
	第2回	11/28	第2編 生命の科学 第2章 微生物とその利用 【知識・技能】			P.88～111	
	第3回	11/28	第3編 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用 【思考・判断・表現】			P.112～135	
	第4回	1/23	第3編 光や熱の科学 第2章 熱の性質とその利用 【思考・判断・表現】			P.136～159	
	第5回	1/23	第4編 宇宙や地球の科学 第2章 自然景観と自然災害 【知識・技能】			P.184～207	
	第6回	1/23	1. 第4編 宇宙や地球の科学 第1章 太陽と地球【主体的に学習に取り組む態度】 2. 調べ学習			P.160～183	
面接指導日	第1回						学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について
	第2回						添削課題の取り組み（進捗状況の確認）について
	第3回						実験① アルコール発酵
	第4回						実験① 振り振り
	第5回						実験② 簡易分光器の作成
	第6回						実験③ 簡易分光器によるスペクトルの観察（連続スペクトル、線スペクトル）
	第7回						実験②、③振り振り
	第8回						期末試験の取り組み方について
単位認定試験			評価方法				
期末試験あり (試験範囲、時間割は2週間前に発表)			試験、添削課題、他提出物や実験への取り組み、平素の学習態度などを総合的に判断し5段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある＋α問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価				

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	後期	CUPS・FSG	保健体育	体育	2
教科書					
現代高等保健体育（大修館書店）					
学習目標					
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。					
(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。					
(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。					
(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。					
添削課題	回数	学習のねらい、内容など			備考 教科書ページ等
	第1回	内容：スポーツにおける技術と戦術、技能の上達過程と練習 提出期限：12月19日（金）			p.160～165
	第2回	内容：体力トレーニング、運動やスポーツでの安全確保 提出期限：12月19日（金）			p.172～179
面接指導日	第1回	別途コース別時間割による			
		1体育の心得 2単位について（シラバス） 3授業ルール 4 BLEND、クラスルームの登録			
	第2回	別途コース別時間割による			
		持久走			
	第3回	別途コース別時間割による			
		球技（ゴール型）			
	第4回	別途コース別時間割による			
		球技（ゴール型）			
	第5回	別途コース別時間割による			
		球技（ゴール型）			
第6回	別途コース別時間割による				
	球技（ゴール型）				
第7回	別途コース別時間割による				
	球技（ネット型）				
第8回	別途コース別時間割による				
	球技（ネット型）				
第9回	別途コース別時間割による				
	球技（ネット型）				
第10回	別途コース別時間割による				
	球技（ネット型）				
単位認定試験		評価方法			
なし		添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	後期	FSG	家庭	家庭総合	2
教科書					
高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる（第一学習社）					
学習目標					
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を通して、様々な人々と協働し、よい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（１）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（２）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。（３）様々な人々と協働し、よい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	備考 教科書ページ等	
	第1回	11/28	第5章：食生活をつくる 第6章：衣生活をつくる 【知識・技能】	教科書p.83～p.148 教科書p.149～p.194	
	第2回	11/28	第7章：住生活をつくる 第8章：経済生活をつくる 【知識・技能】	教科書p.195～p.216 教科書p.217～p.238	
	第3回	1/23	第5章～第8章の内容（食生活・衣生活・住生活・経済生活）についての知識や技術を活用し問題解決や自己表現をする 【思考力・判断力・表現力】	教科書p.83～p.148 教科書p.149～p.194 教科書p.195～p.216 教科書p.217～p.238	
	第4回	1/23	第7章の内容（衣生活）についての生活課題を見つけ、それを解決するための実践活動を計画する 【主体的】	教科書p.149～p.194	
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	家庭総合について、科目の概要、添削課題や学習の進め方について説明する。			別途コース別時間割による
	第2回	第7章 衣生活をつくる 基礎縫い実習を通して、被服製作の基本について学習する			別途コース別時間割による
	第3回	第7章 衣生活をつくる 基礎縫い実習を通して、被服製作の基本について学習する			別途コース別時間割による
	第4回	期末試験に向けて、要点や学習の進め方について説明する。			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組み態度＞の各観点の到達度から評価する			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	後期	FSG	国語	文学国語	2
教科書					
文学国語（大修館書店）					
学習目標					
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語や文化に対する理解を深めることを目指す。①深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。②言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	11/21	十八歳の選択① 筆者の考えにもとづいた考えを読み取る。 自身の人生における「選択」について考える。		教科書12～19
	第2回	11/21	十八歳の選択② 筆者の考えにもとづいた考えを読み取る。 自身の人生における「選択」について考える。		教科書12～19
	第3回	11/21	離さない① 作者独特の言語感覚と物語の展開のしかたについて理解を深める。 登場人物の心理の動きを把握し、主題について深く考える。		教科書82～95
	第4回	12/11	離さない② 作者独特の言語感覚と物語の展開のしかたについて理解を深める。 登場人物の心理の動きを把握し、主題について深く考える。		教科書82～95
	第5回	12/11	陰翳礼讃① 日本文化についての感性豊かな言語表現を読み取る。 日本の伝統的な価値観やその変化について考える。		教科書300～307
	第6回	1/22	陰翳礼讃② 日本文化についての感性豊かな言語表現を読み取る。 日本の伝統的な価値観やその変化について考える。		教科書300～307
面接指導日	第1回	別途コース別時間割による		学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について	
	第2回	別途コース別時間割による		添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について	
単位認定試験		評価方法			
期末試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識・技能＞試験、添削課題、小テストなど＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	後期	FSG	数学	数学A	2
教科書				メディア利用	
新数学A（東京書籍）				なし	

学習目標

* 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 図形と計量、2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。*

添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	11/21	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 1 集合 2 集合の要素の個数 3 個数の数え方 4 和の法則と積の法則【知識・技能】	P 4～P11	—
	第2回	11/21	5 順列 7 いろいろな順列 8 組合せ【知識・技能】	P12～P13 P16～P19	—
	第3回	11/21	6 順列の応用 9 組合せの応用【思考・判断・表現力】	P14～P15 P20～P21	—
	第4回	12/11	2節 確率 1 事象と確率 2 確率の計算 3 排反事象の確率 4 余事象の確率【知識・技能】	P22～P29	—
	第5回	12/11	5 独立試行の確率 6 反復試行の確率 7 条件つき確率 【思考・判断・表現力】	P30～P35	—
	第6回	1/22	8 期待値 第4回復習 【知識・技能】 【主体的に取り組む態度】	P22～P29 P36～P37	—

面接指導日	回数	日程		
	第1回	評価方法の説明、レポート第1回～第3回の学習方法		
	第2回	単位認定試験の学習方法、レポート第4回～第6回の学習方法		

単位認定試験	評価方法・学習のポイントなど
期末試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）	試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。 なお、観点別評価について <知識技能>試験、添削課題 <思考力・判断力・表現力>試験、添削課題 <主体的に学習に取り組む態度>添削課題、ノート・ワーク提出で評価する。

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	後期	CUPS・FSG	保健体育	体育	1
教科書					
現代高等保健体育（大修館書店）					
学習目標					
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。 (1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。					
添削課題	回数	学習のねらい、内容など			備考 教科書ページ等
	第1回	内容：スポーツを推進する取り組み 提出期限：12月19日（金）			P.182～199
面接指導日	第1回	別途コース別 時間割による	1体育の心得 2 単位について（シラバス） 3 授業ルール 4 BLEND、クラスルームの登録		
	第2回	別途コース別 時間割による	持久走		
	第3回	別途コース別 時間割による	球技（ゴール型）		
第4回	別途コース別 時間割による	球技（ゴール型）			
第5回	別途コース別 時間割による	球技（ネット型）			
単位認定試験		評価方法			
なし		添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	後期	FSG	芸術	美術Ⅱ	2
教科書					
高校生の美術2					
学習目標					
美術Ⅰの学習を生かし、より深い創作活動を行うことで、さらに美的体験を重ね、生活や社会などで生かせる知識技能を養う。 具体的には、対象や事象を深くとらえる視点や造形的な良さを感じ取り、それを表現に生かせる力や生涯にわたり美術を愛好する心情、豊かな社会生活を創造する力を育ませたい。					
添削課題	回数	締切日	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	11/21	構成美について学ぶ シンメトリー(対称)、リビティション(繰り返し)、グラデーション(階調)、コントラスト(対比)、アクセント(強調)について学ぶ。		教師制作資料(教科書 p.68参考)
	第2回	11/21	構成美を用いた平面構成 第1回で学んだ内容を生かして、平面構成を制作する。		教師制作資料(教科書 p.68参考)
	第3回	11/21	植物スケッチ 植物をよく観察し、細部までデッサンする。		教科書p.18,p.19
	第4回	12/11	植物スケッチから抽象化する 第3回を元に植物を抽象化する。スケッチした植物の特徴を定規やコンパスなどを用いて単純化し、レリーフの図案を作成する。		教科書p.18,p.19,p.38,p.39
	第5回	12/11	ミニレリーフを制作する 第4回で制作した図柄を元に、レリーフ板を立体的に彫り込んでいく。		教科書p.38,p.39
	第6回	1/22	水彩表現 三原色(シアン、イエロー、マゼンタ)を用いて着色を行う。		教科書p.10,p.11
面接指導日	第1回	別途コース別時間割による			
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。			
	第2回	別途コース別時間割による			
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。			
	第3回	別途コース別時間割による			
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。			
	第4回	別途コース別時間割による			
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。			
第5回	別途コース別時間割による				
	学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。				
第6回	別途コース別時間割による				
	学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。				
第7回	別途コース別時間割による				
	学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。				
第8回	別途コース別時間割による				
	学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。				
単位認定試験		評価方法			
無し		平素の学習への取り組み、提出されたレポートの完成度(技術力・理解力・表現力・独創性)などを総合的に評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	後期	FSG	外国語	英語コミュニケーションⅡ	2
教科書					
All Aboard!! English Communication Ⅱ（東京書籍）					
学習目標					
日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	11/21	Lesson 9の新出単語、語句を理解する。		Lesson 9
	第2回	11/21	本文を読み、使役動詞の理解をもとに、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学んだり、その問題について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につけている。		Lesson 9
	第3回	11/21	使役動詞(make, have, let)を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。		Lesson 9
	第4回	12/11	Lesson 8の新出単語、語句を理解する。		Lesson 8
	第5回	12/11	本文を読み、知覚動詞を用いた文の形・意味を理解している。また、生物模倣について学んだり、自然界のデザインをヒントに開発された製品について調べた事柄を整理・理解している。		Lesson 8
	第6回	1/22	知覚動詞(see, hear, feelなど)を用いた文の形・意味・用法を理解している。知覚動詞(see, hear, feelなど)を用いた文の形・意味・用法を理解し		Lesson 8
面接指導日	クラス	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	音読指導等			別途コース別時間割による
	第3回	音読指導等			別途コース別時間割による
	第4回	音読指導等			別途コース別時間割による
	第5回	音読指導等			別途コース別時間割による
	第6回	音読指導等			別途コース別時間割による
	第7回	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第8回	音読指導等			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、音読、添削課題、他提出物や平常の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について<知識技能>試験、添削課題、音読など<思考力・判断力・表現力>試験、添削課題にある＋α問題など<主体的に学習に取り組む態度>学習に取り組む、ノートやワークブック、各種成果物を総合的に評価			